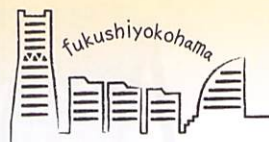




ほら、
よこはまは
あったかい

福祉よこはま

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会 (略称:横浜市社協)



「福祉よこはま」は、横浜市が編集に協力しています

特集 “地域と育む、若者のチカラ”

～中高生の居場所、ボランティア活動を通じて～



自主イベント企画会議に集まった青少年委員会の皆さん
(青少年交流・活動支援スペース「さくらリビング」にて:1月10日撮影)
→詳しくは特集で

もくじ

福祉の仕事

青少年の自立促進や育成をする仕事
青少年交流・活動支援スペース「さくらリビング」… p4

ボラセン情報

横浜市内に災害時の
ボランティア活動用資機材を整備しました …… p5

市社協情報

「第5期 横浜市地域福祉保健計画」 …… p6

福祉よこはま最新号と
バックナンバー▶



福祉よこはま 検索

地域と育む、若者のチカラ

～中高生の居場所、ボランティア活動を通じて～



青少年交流・活動支援スペース さくらリビング ※1

ボランティア先を紹介する

平日の夕方、さくらリビングには自習やゲームをしたり、音楽スタジオで楽器演奏をしたりと、思い思いに過ごす中高生を中心とした青少年が集まります。ミーティングルームでは青少年委員会※2のみなさんが自主イベントに向けた最終打ち合わせをしていました。青少年委員会のメンバーに「さくらリビング」について聞きました。

※1 「さくらリビング」…4ページをご覧ください

※2 青少年委員会…中学生から24歳までの青少年を対象に、1年間を通して活動する「さくらリビング」の委員会。2023年度は大学生や社会人を含む10名が活動(募集は年1回)。自主イベントの企画・実行、機関誌発行、情報発信などを行う。

学習コーナーでは集中して勉強も



青少年委員会メンバーのみなさん



子どもフェスティバルに出店!



さくらリビングって…

- ネットでボランティア募集を見つけて来ました。海辺でのごみ分別やマラソンボランティアは楽しかったです。(高校2年生)
- イベントは仲間と一からつくりあげていく手ごたえがあり、何かに挑戦できる場になっています。(大学3年生)
- 高校2年生で参加した夏期ボランティア体験がきっかけです。楽しさや良さを発信してたくさんの人が興味を持つ企画を立てたいです。(高校3年生)
- 中学生の時、演劇の練習で初めて利用しました。さくらリビングは、わたしにとって「第二の家」のような所です。(高校3年生)

家でも学校でもない場所で、一人で自習をしても、スタッフと喋っても良いし、自分の目的に合わせて過ごすことができます。大学生から60代まで幅広い年代層のスタッフがいます。

イベントで販売したホットドッグは好評



横浜市の

青少年の地域活動拠点のご紹介

「さくらリビング」以外に7か所※4あります

青少年が活動できる“青少年の地域活動拠点”は市内に7か所あります。中・高校生世代を中心とした青少年が気軽に集い、自由に活動する場の提供、仲間や多世代と交流する機会の提供、地域資源を活用した社会参加・職業体験プログラムなどを実施しています。

※4 青葉区、磯子区、金沢区、栄区、都筑区、保土ヶ谷区、南区(横浜市青少年の地域活動拠点づくり事業より)

あおばコミュニティ・テラス(青葉区)

フレンズ☆SAKAE(栄区)



横浜市には青少年が気軽に立ち寄り利用できる場所や、地域の中でさまざまな経験ができる機会があります。中区にある青少年交流・活動支援スペース「さくらリビング」と、毎年、さくらリビングからの中高生ボランティアを受け入れ、地域活動を通じて若者のチカラを育てている西区の活動団体を紹介します。



目配り・気配りできる人になって欲しい

ボランティアを受け入れる

「さくらリビング」が主催する「中高生夏期ボランティア」の受け入れを行っている

「ふりーサロン5」

多目的ルームはダンスやコーラスに



誰でも自由気ままに集えるサロン

「ふりーサロン5」※3 西区

毎年、中高生ボランティアを受け入れており、昨年7月は5人の高校生が参加しました。体験に来る子どもたちには、自分で判断したり選んだことに責任感を持って欲しいと思っているので、何をしてくださいと指示はせずに「まずは自分の思うように動いて」と話しています。すすんで重たいものを持ってくれたり、広場でのボール遊びや室内でゲームをする子どもたちの相手をしたり、一人ひとりが自分で考えて行動している姿があります。年下のボランティアは年上のボランティアの真似をして学んでいきます。「ふりーサロン5」が多世代交流の場として続くよう、これからも取り組んでいきます。



※3 「ふりーサロン5」
…公園のない地域で子どもたちが気兼ねなく動き回れ、地域の方とのふれあいの場として実施(月1回)



◀「ふりーサロン5」代表の武田さん (西区民生委員児童委員協議会会長)

私たちは青少年の自主的な活動を支援しています。また地域の活動団体の協力により、月1回のマチピカ(清掃活動)や夏期ボランティア体験を行っています。自分で活動を選び、体験を通して学び、振り返ることで活動の意義を考えてもらいます。うまくいかないこともあるし、感謝してもらえることもあります。そうした地域での世代を超えた出会いが、青少年にとって大切な体験となると思っています。



◀さくらリビング施設長の尾崎さん

内閣府調査にみる

子ども・若者をとりまく状況

「子ども・若者の意識と生活に関する調査(令和4年度)」によると、「安心できる場所」、「相談できる人がいる場所」、「困ったときに助けてくれる人がいる場所」のそれぞれにあてはまる数が多い子ども・青少年ほど、自己に肯定的な認識を示す割合が高くなる傾向があるとの結果が報告されています。また、「社会のために役立つことをしたい」(社会貢献意欲)について、肯定的な回答者の割合は、回答者全体(10歳~39歳)でも8割を上回りますが、19歳以下では、より高く約9割を占めており、子ども・若者の社会貢献への関心の高さが伺えます。

各施設の場所、利用方法などはホームページでご確認ください。





■青少年の自立促進や育成をする仕事

青少年交流・活動支援スペース「さくらリビング」施設長

おざき まりな

尾崎 万里奈さん に聞きました

自分を認めてくれる人とのつながりが
居場所になっていきます。

きっかけ 美術を専攻していた大学院時代に若者支援をしているNPOとつながりができ、不登校やニート、フリーターなどといった若者のための地域の場づくりに携わりました。この経験から青少年の育成に興味を持つようになりました。

日々の仕事 青少年が好きなように過ごせるフリースペースや施設の貸出などを行っています。ボランティア活動の紹介や地域活動の支援もしています。来所する小中高生たちとは立ち話をしたり、学校の話の聞いたり、時には相談を受けることもあります。ここに居てもいいんだと思ってもらえるように「また来てね」など何かしら声掛けをするようにしています。

この仕事に興味のある方へ この仕事には形も正解もありません。若者にこうなってほしいと押し付けるのではなく、実際に経験してもらおう場をたくさん作り、自ら学んでもらいます。形がないことを楽しめる人には、やりがいのある仕事だと思います。

青少年のみなさんへ

何事も間違っただけじゃないと思うと、一歩踏み出しづらくなります。うまくいかない経験は、次はこうしよう、こうしたいと気づく機会になります。怖がらずにやってみる、安心して失敗できる場としてさくらリビングを活用してほしいです。ここを居場所にするだけでなく、さまざまな交流、体験を通して、次は学校や地域、仕事でやりたいことを見つけて、その先の居場所を作ってもらいたいです。

青少年交流・活動支援スペース 「さくらリビング」とは

中高生をはじめとした青少年の文化・交流活動を支援し、青少年の自立促進や育成を図る拠点施設です。ひとりでもみんなと一緒に、いつでもふらっと立ち寄れる交流の場です。公益財団法人よこはまコースが運営しています。

場所 横浜市中区桜木町1-1 ぴおシティ6階
(JR桜木町駅徒歩3分、市営地下鉄桜木町駅徒歩1分)

電話 045-263-8020

開所時間 午前9時から午後10時まで(休所日：毎月第1日曜日、年末年始)

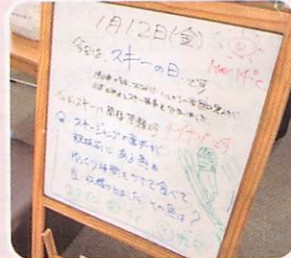
設備 フリースペース(交流コーナー・学習コーナー)、ミーティングルーム、
研修室、音楽スタジオ、多目的ルーム



▲人気のボードゲーム



▲いつでもふらっとどうぞ



▲ウェルカムボードには、
毎日クイズが書かれています



ホームページ▶

横浜市内の
介護人材関連情報

ホームページ▶



広告

アナタも身近な「見守りの担い手」に！

例えば ご近所同士で契約トラブルの情報提供
消費者被害で困っていたら横浜市消費生活
総合センターを案内

高齢者に多い消費者トラブル

- ①お試しのつもりが定期購入
- ②無料点検からの強引な屋根工事勧誘
- ③トイレ詰まりで思いがけず高額な請求

消費生活相談電話

TEL.045-845-6666

FAX.045-845-7720



横浜市消費生活総合センター

横浜市内に

災害時のボランティア活動用資機材を 整備しました

この度の能登半島地震につきまして、お亡くなりになられた方々に心からお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

被災者支援には行政だけでなく、ボランティアによる支援も多く必要となります。今年度、本会では中央共同募金会の助成金を受け、横浜市内で災害が発生した際、ボランティア活動者が使用するための資機材(各種スコップ、土のう袋、一輪車など)を市内3か所に整備しました。設置場所については、地域貢献として賛同いただいた社会福祉施設に無償で提供していただきました。この場を借りて、ご協力に感謝申し上げます。



泉区に設置された資機材倉庫



横浜市内では災害ボランティア用の資機材を
3か所に設置しています

- 戸塚区** ● 社会福祉法人和みの会
特別養護老人ホーム 和みの園
- 泉区** ● 株式会社ネクストワールド
自立援助ホームNEXT
- 中区** ● 横浜市社会福祉センター

令和6年2月現在

Q どのようなときに
資機材は使うの?

A 横浜市内や近隣自治体で災害ボランティアセンターが立ちあがり、ボランティアの方に活動していただくときに使うことを想定しています。

!! 資機材倉庫の設置に協力していただきました!!

私共の自立援助ホームは青年たちが将来前向きかつ充実した生活を送れるように自立を後押しする地域生活拠点です。今回の資機材倉庫の設置をきっかけに、地域の皆様に自立援助ホームのことを知っていただき、青年たちの自立を応援していただけたら嬉しいです。

自立援助ホームNEXT ホーム長 関さん



赤い羽根共同募金にご協力いただきありがとうございます

中央共同募金会では、赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金(ボラサポ)」への寄付を財源に、災害時のボランティア活動にかかる資機材などの整備や、それを活用するためのネットワーク構築を行う事業を支える「災害時のボランティア活動資機材ネットワーク助成」を実施しています。

詳しくは
こちらから!



横浜市ボランティアセンターより

横浜で災害が起きると、横浜市社協・18区社協は、市・区役所の要請で横浜市災害ボランティア支援センター、区災害ボランティアセンターを運営します。ご紹介した資機材の整備は今後も引き続き行っていきます。災害時には企業・団体・地域の方々と力を合わせて、被災者の支援を行います。ご協力のほどよろしくお願いたします。

この記事に関する
問い合わせはこちら

横浜市
ボランティアセンター
☎045-201-8620
ホームページ・Facebook ▶



令和6年能登半島地震
災害義援金については
こちら



「第5期 横浜市地域福祉保健計画」 (愛称:よこはま笑顔プラン)

横浜市地域福祉保健計画は、市民の皆様と関係機関・支援機関等がともに考え、取り組む計画です。市民の皆様からのご意見を含め、令和6年度から令和10年度までの5年間を計画期間として第5期の横浜市地域福祉保健計画の策定をしています。

※第3期計画から本会の「横浜市地域福祉活動計画」と一本化して策定することにより、市と市社協の取組を一体的に推進しています。

【問い合わせ先】横浜市社会福祉協議会 企画部企画課 ☎045-201-2090

計画の全体像

詳細は
令和6年4月以降に
ホームページで
お知らせします。



ちぶくちゃん



▲詳細はこちら

<基本理念> ~計画の推進を通じて目指す目標像~

誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる
「よこはま」をみんなでつくろう

<p>目指す姿1 ＜認めあい＞ お互いに尊重し、安心して自分らしく暮らせる地域</p>	<p>目指す姿2 ＜つながり＞ 気にかけて、支えあい、健やかに暮らせる地域</p>	<p>目指す姿3 ＜ともに＞ 助けが必要な人も、手を差し伸べる人も、ひとりで抱え込まない地域</p>
--	--	---

<推進のための取組>

1. 身近な地域で支えあう仕組みづくり
2. 地域における福祉保健活動を推進するための基盤づくり
3. 多様性を尊重した幅広い市民参加の促進

賛助会員のご紹介

ご支援・ご協力ありがとうございました。令和5年10月26日～令和6年1月17日 新規受付・継続受付分

個人
●工藤 修司 様

【問い合わせ先】
横浜市社会福祉協議会 総務部
☎045-201-2096

賛助会員・
賛助会費の
ご案内



みんなのきもち あいがとう

みなさまからの寄付は、地域の助けあい、
支えあい活動のため、有効に活用させていただきます。



お米約2トン!

～寄付の取組紹介～

『お米一合運動』を社会福祉法人等と連携し取り組みました

市社協では、(公財)フードバンクかながわから「一人当たりにお渡しするお米の量が減っている」という話を聞き、自分たちで出来ることではないかと考え、昨年11～12月にかけて、市社協職員と社会福祉施設を運営する社会福祉法人の方々などと一緒に『お米一合運動』に取り組みました。お米一合(150g)～とカレー(甘口)の寄付を集めたところ、お米が約2トン(1,991kg)・カレーが626箱も集まりました。各施設では職員から少しずつ集めていただくなど、76施設からご寄付があり、フードバンクかながわに届けることができました。

この取組を知った施設協力医や地域の方々、横浜市子ども青少年局、横浜市教育委員会事務局責任職会からもご寄付いただきました。

ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。



▲会議等の際にお持ちいただきました



▲フードバンクかながわにお届けしました

フードバンクかながわより

フードバンクかながわでは、生活に困っている人やその人たちを支援している団体や組織に、寄付などでいただいた食品をお届けしています。主食であるお米は集まってもすぐに無くなってしまいうため、今回の取組は非常にありがたいことでした。引き続きお米の寄付を募集しています。ご協力よろしくお祈りします。このたびはありがとうございました。

横浜市金沢区富岡東2-4-45
☎045-349-5803

横浜市ボランティアセンターでは、
寄付のご相談をお受けしています
☎045-201-8620

寄付者のご紹介

ご支援・ご協力ありがとうございました。この寄付は「ヨコ寄付」の取組等で使われています。
令和5年10月1日～12月31日受付分(受入順)

金銭寄付者

- (個人)
- 小杉 町子 様
 - 山崎 泰則 様
 - 岩田 明典 様
 - 富士松 延治 様
- (企業・団体)
- 横浜信用金庫 理事長 大前 茂 様 (3件)
 - 浜住研 株式会社 代表取締役 齋藤 善信 様
 - 横浜力・レイ・ロケラニ フラストジオ 様
 - 汲沢電設 有限会社 様 (3件)
 - KLA Foundation 様
 - 日本ハムマーケティング 株式会社 南関東販売部 横浜営業所 様
 - 株式会社 創健社 様
 - 横浜信用金庫 本店営業部 様
 - 株式会社 ハマヤシステム 様
 - 横浜市子ども青少年局責任職会 様
 - 横浜市教育委員会事務局責任職会 様
 - 宗教法人 真如苑 様
 - イ・ジュングローバルファン連合 様

- ふれあいチャリティバザー実行委員会 様
 - 湘南サーブビスOAグループ 様
 - 湘南エースクラブ 様
 - 特定非営利活動法人 ゴールデンウェブ 様
 - 株式会社 ぐらしの友 横浜営業所 様
 - 公益財団法人 神奈川霊園 様
 - 横浜冷凍 株式会社 様
- (匿名寄付) (37件)

物品寄付者

- (企業・団体)
- OZアカデミー女子プロレス 様
 - 株式会社 セブン-イレブン・ジャパン 様
 - 日本音楽文化交流協会 様
 - 公益財団法人 神奈川芸術文化財団 様 (2件)
 - 三菱重工業 株式会社 様
 - 三菱重工グループ労働組合連合会 本社・横浜地区本部 様
 - 伊藤忠テクノソリューションズ 株式会社 様
 - 千代田化工建設 株式会社 様
 - 株式会社 ロフト 様
- (匿名寄付) (1件)

ヨコハマ寄付本寄付者

- (個人)
- 水林 みつ子 様
- (企業・団体)
- 認定NPO法人 横浜移動サービス協議会 様
 - 株式会社 コア 様
 - フェリス女学院中学校・高等学校 様
 - 横浜市社会福祉協議会運営施設等)
 - 横浜市瀬谷区社会福祉協議会 様
 - 横浜市栄区社会福祉協議会 様
 - 横浜市社会福祉センター利用者一同 様 (2件)
 - 横浜市並木地域ケアプラザ 様
 - 横浜市港南区社会福祉協議会 様
 - 老人福祉センター 横浜市ユートピア青葉 横浜市もえぎ野地域ケアプラザ 様
 - 横浜市東永谷地域ケアプラザ 様
 - 老人福祉センター 横浜市野毛山荘 様
- (匿名寄付) (41件)



ヨコ寄付

ヨコ寄付は、「ヨコハマで、すぐヨコへ。」をコンセプトに、本会への寄付金を活用し、既存の制度やサービスでは対応ができない課題の解決を目指す取組です。



ホームページ▶



X(旧Twitter)▶

駅近！ 便利な貸会議室のご案内 目的や立地に応じて使い分けられる2施設
 福祉・保健関係者を対象とした施設ですが、一般の方もご利用いただけます

福祉保健研修交流センター ウィリング横浜
多様な貸会議室をご用意しています

上大岡駅
徒歩3分

4~240名まで収容可能な研修室、実習室、和室など30室を備えています。打ち合わせ、研修、会議と幅広い用途でご利用いただけます。ぜひご活用ください。
※有料・要事前予約



机・椅子のレイアウト、付帯設備の設営は当施設が行います



車いす、介護ベッドなどを備えた介護実習室

詳しいご利用についてのお問合せは

福祉保健研修交流センター ウィリング横浜
 TEL: 045-847-6666 FAX: 045-345-0799
 〒233-0002 港南区上大岡西1-6-1 ゆめおおおかオフィスタワー内
 開館時間: 9:00~21:00
 休館日: 年末年始、設備点検日
 インターネットで
 空室検索ができます

ウィリング横浜 検索



横浜市社会福祉センター
ホール・会議室を使ってみませんか？

桜木町駅
徒歩2分

ホールや会議室などの貸出を行っています。会議室は最大108名まで、ホールは298名まで収容可能。平日は夜9時までご利用いただけます。ぜひご活用ください。
※有料・要事前登録

ホールは、研修会や講演会などの会場として人気です



詳しいご利用についてのお問合せは

横浜市社会福祉センター
 TEL: 045-201-2060 FAX: 045-201-6116
 〒231-8482 中区桜木町1-1 横浜市健康福祉総合センター内
 開館時間: 平日9:00~21:00(土日祝日は17:00まで)
 休館日: 毎月最終月曜日、年末年始、設備点検日
 インターネットで予約・空室検索ができます

横浜市社会福祉センター 検索



指定管理者: 社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償 !!

令和6年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
コチラから
(ふくしの保険ホームページ)



新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類感染症に変更されたことに伴い、「特定感染症重点プラン」を廃止して2つのプランとします。

保険金額・年間保険料 (1名あたり)

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円		
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	
		外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円		
	特定感染症		補償開始日から補償*		
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷		×	○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		
年間保険料			350円	500円	

*特定感染症についても10日間の免責期間がなくなり、補償開始日から補償対象となります。
 なお、令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症は補償対象外となりました。

<重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉
 〈保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 TEL: 03 (3349) 5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)
 この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03 (3581) 4667
 受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

みんなの声

前号の感想

横浜生活あんしんセンターは25年も活動をされているのに、知らないことがたくさんあります。権利擁護の観点をもっと学べたらと思います。(神奈川区 いっちゃん)

SDGsとしてのロスフラワーの活用は、神奈川県内でもいくつか紹介されていますが、今回のチャリティーイベントは、小学生の自発的参加がボランティア活動になっている点が、特に素晴らしいと感じました。SDGsの可能性と広がりについて教えられたと思います。「アイデアによってできるSDGs」はきっとたくさんあるのですね。(南区 R.U)

福よこクイズのプレゼント記事を見て、小豆のホットアイマスクがすごく気になりました。自宅でパソコンを使うことが多く、視力に気を付けたいと思いました。(南区 伊藤 淳)

成年後見人という言葉を知りました。記事を読み必要性もよくわかりました。養成講座もあるので、興味があります。(泉区 まるりん)

「NPO 法人ぷらっとほーむ」の活動について助成金を活用して多世代が集える場所を作ってくださいと、素敵だと思いました。今は意識してこのような場所を作らないと、自発的交流がなかなか難しい時代だなあと感じます。(港南区 こんぺいとう)

福よこクイズ

ご応募・ご感想
お待ちしております!

「〇〇リビング」は公益財団法人よこはまユースが運営する青少年交流・活動支援スペースです。交流コーナーやダンスや音楽などに幅広く使える活動の場があり、青少年のボランティア活動の情報も提供しています。(ひらがな3文字)

今号のプレゼント

「メタリックヤーンのコースター」5枚セット

キラキラしたメタリックヤーンの糸を丁寧に編みこんだコースターです。糸がグラデーションになっているので、見え方がそれぞれ異なるのも魅力です!

工房アリアーレは旭区の二俣川銀座商店街にあり、中途障害者の方が自主製品の製作と販売をしています。

お気軽にお立ち寄りください。



デザイン・色はおまかせください

前号209号「福よこクイズ」の答えは、「25」でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

抽選で15名の方にプレゼントを差し上げます。
締切: 令和6年4月30日(火) 必着

応募方法 はがき・FAX・メール・応募フォームにて、
下の項目をご記入のうえお送りください。

〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1
横浜市社協「福よこクイズ」係
〈FAX〉045-201-8385
〈メール〉
fukuyoko@yokohamashakyo.jp



「福よこクイズ」応募フォーム▶

- 項目
- 1) 記事の感想・ご意見
 - 2) 福祉よこはまの入手方法
 - 3) 福祉よこはまの入手回数
 - 4) 「みんなの声」次号掲載時の氏名の掲載可否 (匿名希望の場合はイニシャルを記載)
 - 5) クイズの答え
 - 6) 氏名(ふりがな)
 - 7) 年齢
 - 8) 電話番号
 - 9) 郵便番号・住所

ご感想のみの方も
おまちしています。

【個人情報取扱】

※応募に関する個人情報については、当選者への発送及び福祉よこはま紙面作成の参考にのみ利用させていただきます。

編集後記

若者の居場所について取材をする中で、どの世代にも自分が居たいと思える場所は必要だと感じました。ひとりでも誰かと一緒に居心地の良い場所を見つけるには少し勇気も必要ですが、そんな場所がひとつでもあると良いと思いました。

青少年委員会のメンバーも、最初はちょっとしたきっかけで「さくらリビング」に通うようになりました。何かしてもいいし、しなくてもいい、自由に過ごせる場所です。「気分転換したい」もひとつのきっかけ。安心して気負いなくいられることで、興味の幅が広がるのかもしれませんが。

「福祉よこはま」は、
共同募金配分金の
一部を活用して
発行しています。



〈発行〉
社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会
〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1
☎045-201-2090 FAX: 045-201-8385
Eメール: fukuyoko@yokohamashakyo.jp
URL: https://www.yokohamashakyo.jp

〈デザイン〉
株式会社 オールスタッフ
次号▶No.211
令和6年6月発行予定

広告

福祉保健および関連分野の専門図書館です。図書・資料・逐次刊行物・広報紙・視聴覚資料の閲覧・視聴ができます。

情報資料室

ウィリング横浜11階

【開館時間】 火～土曜 9～21時

日・月曜 9～17時

【休館日】 毎月第2金曜日

年末年始

【利用登録】 神奈川県内在住働在学の方



蔵書検索システム

■ 問合せ: ウィリング横浜 情報資料室 ☎045-847-6677

詳細はWEBサイトへ!

Q ウィリング横浜

福祉保健研修交流センター
ウィリング横浜
緊急・地下鉄上大岡駅 徒歩3分
LINE



誰かに聞いてほしい悩み
こころの相談室
ひとりで抱えていませんか?

面接相談

電話相談

相談予約

※祝日・年末年始除く
045-847-6688

公認心理師等の資格を持つ専門カウンセラーが相談に応じます。プライバシーは守られます。安心してご利用ください。

- ・家族のことで、少し心配ごとがある・・・
- ・初めての管理職で相談先がなく悩んでいる
- ・同僚との人間関係がうまくいかず仕事が辛い

【対象】

市内在住・在勤の社会福祉事業所等で働く方、民生委員・児童委員等地域で福祉関係の活動をしている方、その関係者

【予約受付】

月～金曜 10～17時

土曜 14～16時

相談は
無料です

